

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1152 保育所管理運営事業	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	04	児童福祉費
基本施策	08 子どもを産み育てやすい環境をつくる	目	04	保育所費
		細目	229	保育所管理運営事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	保育所管理運営事業
担当部課	コード	753000		担当者氏名
	名称	青山支所 住民福祉課		
		連絡先	52 - 3228 (内線) 110	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	0歳～小学校就学前までの子ども及び保護者	※対象件数
成果(どうする)	保育に欠ける子どもが保育所において安定した生活と充実した活動ができる。また、保護者の子育てと就業の両立が支援される。	
根拠法令・要綱等	児童福祉法、次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	保育所の入退所事務・施設管理運営 青山支所内においては、公立保育所1ヶ所で保育を実施	
社会情勢の変化等	未満児の保育希望者及び年度途中入所が年々増加してきているため、保育士の確保等受け入れ態勢を整える必要	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	直営
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値			
			H20	H21	H22	H23		
保育所入所延べ人数	人	目標	190	190	190	190		
			実績	198			実績	192
			目標				目標	
			実績				実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
児童入所率	入所児童数/定員数	%	目標	100	目標	100	100
			実績	100	実績	100	
待機児童数	保育ニーズの充足を図る。	人	目標	6	目標	0	0
			実績	0	実績	0	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	73,678	75,528	76,167	77,293				
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	73,678	75,528	76,167	77,293				
事業投入人件費(B)	16.5人 118,800	16.5人 118,800	16.5人 118,800	16.5人 118,800				
フルコスト(A)+(B)	192,478	194,328	194,967	196,093				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
有効性	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
達成度	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
効率性	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】
達成度	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効率性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
達成度	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
達成度	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	地域における保育ニーズに対応するため、乳幼児の受け入れや一時・延長保育の充実を行うためには、保育士の確保を含め運営における体制づくり。また、遊具等の施設の改善も図る必要がある。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 待機児童を少なくするため、伊賀市内保育所との連絡調整、一時保育の受け入れ。保護者の就労支援として延長保育の実施。児童虐待の未然防止や子どもの発育状況に応じて、児童相談所や他機関との連絡調整。さくら保育園建物の管理、修繕。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	森本 君枝
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 今後も、安全で心身の健全な発達ができる保育環境づくりを行い、保護者の子育てと就労の両立を支援する。
現時点における課題、その他	乳幼児の入所が増えてきており、保育士の体制が難しい状況である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	乳幼児の受け入れや一時・延長保育の充実を図るため、来年度の保育士の確保を含め、今年度から体制づくりを検討する。